

## 地質情報展2005きょうと 体験コーナー 砂で遊ぼう! 不思議な砂箱「砂変幻」報告

吉田 朋弘<sup>1)</sup>・有田 正史<sup>2)</sup>

有田正史氏は、地質調査所退職(2002年3月)後、日鉄鉱コンサルタント(株)で活躍されていますが、経験と知識をお借りし地質調査総合センター研究成果の啓蒙・普及に多大なご協力を頂いております。地質情報展は、9年前の地質調査所時代に、有田氏を中心に開催されたものであり、現在に至っております。

砂変幻は、子供達に楽しく遊んでもらい、砂に興味を持ってもらえるようにと考え出された砂のおもちゃです。箱の中の砂は幾何学的な動きで落ちていき、残った砂は立体的な模様を描きます。「地質情報展2002にいがた」から体験コーナーの一つとして、子供から大人まで楽しめる人気コーナーになりました(写真1)。

今回は京都が会場でしたので、新たに琵琶湖周辺の地形を表した砂変幻を作成してもらいました(写真2)。どうでしょうか、琵琶湖を囲む山々の地形が立体的に見えませんか? くれぐれも、航空写真を持ち出



写真2 琵琶湖周辺の地形を表した砂変幻。

して本物と違うなどとは言わないでください。

砂変幻を見て、子供は無邪気に「これ、ちょうだい。」と言い、大人も「いくらで譲ってくれますか。」と言います。どうでしょうか、時間や根気そして多少のノウハウは必要ですが、皆さんも砂変幻作りに挑戦してみませんか。今号においては、地質情報展特集として事務局からの報告に留まりますが、有田氏のご都合を聞いて、「砂変幻の作り方」について本紙にご寄稿頂けるようお願いしてみるつもりです。

最後に、砂変幻は有田氏のご好意により出展させて頂いております。子供達が楽しく遊ぶ姿を見て、情報展事務局もうれしく思っています。今後も、ご指導・ご協力賜りますようお願い致します。簡単ではございますが謝意に変えさせて頂きます。

YOSHIDA Tomohiro and ARITA Masafumi (2005): "Wave-Sand Box" the special section in the Geological Exhibition in Kyoto.

<受付: 2005年9月26日>



写真1 砂変幻で遊ぶ来場者。

1) 地質情報展開催事務局, 産総研 地質標本館  
2) 日鉄鉱コンサルタント(株) 元地質調査所

キーワード: 京都, 地質情報展, 砂, おもちゃ